聖教新聞
SEIKYO SHIMBUN
2018年（平成30年）8月18日（土）

わが友に贈る

相手を尊重する心に
友情の花は咲き薫る。
同苦する祈りに
信頼の果実が実る。
彩り豊かな交友史を！

2018年8月18日

■青年部教学試験1級へ　リーダー座談会　4
■【信仰体験】笑顔で病魔と闘いたい！　5
■【あすなび】日本の農村でリフレッシュ！　6・7

想いをかたちに　未来へつなぐ
竹中工務店
www.takenaka.co.jp

発行所　聖教新聞社
〒160-8070 東京都新宿区信濃町18 TEL.03-3353-6111

グローバルウオッチ

グローバルウオッチ　世界を見つめて
共生の未来へ

互いを慈しみ、学び合う　最高の自分に出会える場

差異と向き合う④

現代社会の課題と向き合う「グローバルウオッチ　共生の未来へ」。「差異と向き合う」の第4回では、個々の多様な差異が学会員がどのように捉え、価値を生み出しているのかを考える。（記事＝小野顕一）

会合や総行事、広宣流布誓願の音頭行会などで手話通訳を担う「ピースハンズグループ」。東京を中心に約100人が活動する。

その一人、荒川区の鎌田美司子さん（支部婦人部長）が手話を始めたのは、中橋伊美子さん（副日ゆり長）との出会いがきっかけだった。

中橋さんは生まれつき耳が聞こえない。座談会では、そばにいる人が筆談で内容を伝えた。鎌田さんも進んで隣に座るようにしていたが、気に掛かることがあった。ユーモアや冗談が飛び出して参加者が一斉に笑うような場面で、中橋さんだけ笑うことができず、周囲の表情を察して笑みを浮かべていたのだ。

〝筆談では笑いのきっかけを瞬時に伝えられない。でも手話なら、一緒に笑えて、寂しい思いをしなくて済むかも――〟

そう思い立ち、鎌田さんは区の手話講習会へ。「初めは恐る恐るです。途中で手が全く動かなくなった時もありました。最初は字幕があれば手話は必要ないのではと思っていましたが、そうではないと知りました」

耳が聞こえなくても、文字は読めるから大丈夫――健聴者はそう考えてしまいがちだが、実際は違う。ろう者が使う「日本手話」は、日本語とは文法等が異なる〝言語〟である。

筆談で座談会の内容を教えてもらっていた中橋さん。「せっかく書いてもらったのに、言葉の意味が分からないこともありました」と述懐する。

以前は会員で「一言どうぞ」と促されても、首を振って断るしかなかった。だが、鎌田さんの手話通訳を介し、初めて自分の思いを伝えることができた。

実は当時、中橋さんは長女の不登校に思い悩んでいた。中橋さん夫妻は耳が聞こえないが、2人の子は健聴者。家庭では手話での会話が中心だった。

胸の内を伝えると、地区の皆が「絶対に大丈夫」と応援するからと、不安なしに寄り添ってくれた。道で会うたび、カタコトの手話で励ましてくれた。

「筆談では遠慮して質問できなかったのですが、手話で御書の内容を教えてもらい、自信をもって活動できるようになりました」と中橋さん。「冬は必ず春となる」の一節を胸に、唱題に励んできた。

長女は高校を中退した後、何年も家に引きこもっていたが、婦人部・女子部の親身な励ましにより、少しずつ外出できるようになった。仕事にも就き、今は結婚して幸せな家庭を築いている。

そうした体験を語り、友人らに弘話での会話が中心だった。

鎌田美司子さん（中央）と中橋伊美子さんが手話で語らう（東京・荒川区内で）

〝最初は〝大変で不便だろうから力になりたい〟と思っていました。でも、それで困っているとか、かわいそうとかではないと気付かせてもらったのです。

19世紀初め、琉球（沖縄）を訪れたイギリス人が、航海記に「平和を愛する穏やかな民族」として、礼儀正しい人々の振る舞いに感動したのが、つづった。それを伝え聞いたナポレオンは〝武器を持たない国があるのか〟と驚嘆したという。礼を重んじる沖縄で今、ブームになっているのが「空手」。競技人口は世界で5000万人ともいわれ、野球や柔道を上回る。2020年の東京五輪では正式種目になった。沖縄県庁には「昨年、「空手振興課」が設置され、昨年3月に「沖縄空手会館」がオープン。今月上旬、第1回沖縄空手国際大会が開催され、50カ国・地域120人の空手家が技を競った▼もともと琉球には「手」という武術があった。中国や東南アジアの国々と交流するうちに中国拳法と融合し、「空手」が誕生したとされる。空手には〝力強いイメージ〟があるが「空手に先手なし」という教えがある通り、心技両面で「先非悪道」を戒く。「和」と「礼」を重んじる沖縄の心が脈打つ▼琉球という小国がアジア諸国と対等に交易できたのは、島国という地理的条件もあるが、「礼」などのソフトパワーを生かしたからだろう▼沖縄には、平和への深き使命がある。歴史の源流がある」と池田先生。この沖縄の〝平和の心〟に学びたい。（終）

2018・8・18

≪寸鉄≫

大聖人の確信に触れれば信心の火が燃える＝恩師日々、御書を編き前へ！

◇

世代を超えて個価の平和運動に学び、社会全体へ＝識者。次代を拓く誇り

◇

栃木県青年部の日。関東全人類の幸福という広宣流布を牽引する不屈の敢闘精神で拡大を

◇

夏バテ予防は①栄養補給②十分な睡眠③適度な運動を。健康こそ勝利の源

◇

世界の異常気温は今後5年続く＝予測。温暖化抑制へ国境超えた取組急務

感想・意見をお寄せください
メール：g-w@seikyo-np.jp
ファクス：03-5360-9613

毎日のお食膳に　キューピーマヨネーズ

SANKEN ENVIRONMENTAL ENGINEERING
人と空気と水の環境創造。
http://skk.jp
三建設備工業

「相手」ではない

ピースハンズグループの創立から関わる市川美智子さん（東京・板橋区、婦人部副本部長）は語る。「手話通訳中は、耳などからの情報を素早く判断して伝える必要があります。『共生』という語なら、『共に生きる』のか『共に生活する』のかを、前後の話から考えて瞬時に決めなければなりません」

〝空気を読む〟文化に象徴されるように、日本語は文脈に大きく依存し、遠回しな表現や曖昧な言い方が多い。一方、手話では、日本語をそのまま訳してしまうと伝わらない場合が多々ある。

また手話は地域等によって表現に違いがあり、御書を「黒く厚い本」と表す地域があれば、御書カバーのファスナーを開けるしぐさをする地域もある。通訳には入念な準備が必要だ。

「当然、通訳者にも仕事や家庭・活動があります。それでも全てをやり切ろうとするのは、ろう者の友から信心の偉大さを学んでいるからかもしれません」

ピースハンズグループの友が手話を志した動機の多くが、市川さんや鎌田さんのように、ろう者の同志に信心のことを伝えたかったからだという。

ある友は、入会はしていたものの学会を否定的に見ていた渋々参加した座談会。耳が聞こえない参加者が気になった。

内容が分からないのに、なぜ座談会に来るのか。別の人に聞くと、「耳が聞こえなくても毛穴から指導が入るから」との思いで足を運んでいるとの知った。

その友は自分の姿勢を恥じ、それから積極的に学会活動に取り組み、手話にも挑戦を始めた。ろう者の求道の心に触れ、信心に向き合い直したメンバーは枚挙にいとまがない。

盲ろう者教育に殉じた梅津八三氏の言葉に、こうある。

「人に障害があるのだろうか。耳が聞こえないが障害ではない。その人と関わりたいと思っている人との間に障害は生まれる」（藤井雅春著『盲ろうモデル』文眞堂）

コミュニケーションの視点から見れば、障がいは「相手」にはない。あくまで相互の「関係性」の中にある。互いに差異と向き合い、互いに変われば、差異による差別や偏見、分断もなくなるに違いない。

手話通訳する市川美智子さん（右）

「広宣流布」とは

カナダの社会活動家スペンサー・ウェストさんは語る。

「SGI（創価学会インターナショナル）のエンパワーメント（内発的な力の開花）には驚くべきものがあります。なぜなら、広宣流布が全ての人の平和と幸福を目指すものだから。相手を決め付けるようなことはしない」

ウェストさんは先天性の病により、5歳で両足を切断。医師の「社会的役割は捨てない」との宣告を覆し、自身の挑戦を通して希望を示すモチベーショナルスピーカーとして活動を。聴衆は十数人の時もあれば、1万人以上の時も。年200日以上を講演のために出張する。

2012年6月、アフリカ大陸最高峰のキリマンジャロ登頂を決意。2人のパートナーを伴い、車いすを使わず両手のみで登り切り、大きな話題を呼んだ。

パートナーの一人は、SGIのメンバーだった。学会の哲学に共感し、唱題を実践し続けてきたウェストさん。信心でさらに自分を磨き、より多くの人に生きる喜びを伝えられると確信し、登頂直後に入会を決めた。自身の成長の姿で周囲に希望を送る学会は、目指してきた生き方そのものだと話す。

講演するスペンサー・ウェストさん（写真は本人提供）

「自発的な行動を促せるよう、講演に臨んでいます。人は自分の状況がどうであれ、誰かのために行動する時に一番幸福を感じるからです」

◇

職場や地域をはじめとする無数のコミュニティーの中にあって、学会という存在は、個々の境遇を差別感や劣等感の因とするのではなく、成長の因にしようと思える場となっている。

なぜ、それが可能なのか。

学会は全ての人間の仏性を確信し、いつかは友の幸福のために行動しゆくことを信じ抜く。ゆえに互いの差異に価値を見いだし、学び合うことができる。

池田先生は「差異を認め合うたえで、皆が平等に、自分自身を光輝あらしめていく。そして、麗しい『桜梅桃李』の花園を築いていく。そのための源泉が妙法である」と述べている。

また「互いに差異を慈しみ、ともに向上するを和としながら、花園のような調和と共生の世界を織り成していく――まさにその中にこそ、人間の生き方の本領がある」と指摘する。

全人類の幸福という広宣流布の頂を目指した時、誰しもが平等でかけがえのない存在となる。その人にしか果たせない使命がある。その人にしか幸せにできない人がいるからだ。

その桜梅桃李の花園では、自他を分かつ差別さえもが、最高の自分を発揮する力となる。

カナダのSGIの男子部員と談笑するウェストさん（左から3人目）

Global Watch

名字の言

感謝

19世紀初め、琉球（沖縄）を訪れたイギリス人が、航海記に「平和を愛する穏やかな民族」として、礼儀正しい人々の振る舞いに感動したのが、つづった。それを伝え聞いたナポレオンは〝武器を持たない国があるのか〟と驚嘆したという▼礼を重んじる沖縄で今、ブームになっているのが「空手」。競技人口は世界で5000万人ともいわれ、野球や柔道を上回る。2020年の東京五輪では正式種目になった。沖縄県庁には「昨年、「空手振興課」が設置され、昨年3月に「沖縄空手会館」がオープン。今月上旬、第1回沖縄空手国際大会が開催され、50カ国・地域120人の空手家が技を競った▼もともと琉球には「手」という武術があった。中国や東南アジアの国々と交流するうちに中国拳法と融合し、「空手」が誕生したとされる。空手には〝力強いイメージ〟があるが「空手に先手なし」という教えがある通り、心技両面で「先非悪道」を戒く。「和」と「礼」を重んじる沖縄の心が脈打つ▼琉球という小国がアジア諸国と対等に交易できたのは、島国という地理的条件もあるが、「礼」などのソフトパワーを生かしたからだろう▼沖縄には、平和への深き使命がある。歴史の源流がある」と池田先生。この沖縄の〝平和の心〟に学びたい。（終）

2018・8・18

各サイトへはQRコードからアクセスできます
セイキョウ オンライン　www.seikyoonline.com
ソウカ ネット　www.sokanet.jp

●8/23発売予定●　●新刊●　●好評既刊●

突撃！島酒場　～日本縦断　ほろ酔い島めぐり～
カルチャリア吉田著　A5判　176P　1,728円（税込）
島の酒場には様々な顔がある。多くの島を旅してきた著者が、うまい酒肴と新鮮な肴、そして島人との出会いを求めて、日本の主だった島の飲み屋街をさまよい歩く。日本旅院、島焼紀行。

プラハ発チェコ鉄道旅行　A5判　172P　1,728円（税込）
知られざる鉄道三国チェコ・プラハ本駅を基点にプルゼニュやプルノ、オロモウツなど三大都市へ向かう旅情をふれる鉄道旅行の魅力を、各地の乗り情報とともに紹介。旅のプランニングにも最適。

廃域をゆく6　石垣の城を極める！
数百年の時を経て朽ちることなき城容を見よ!!
戦国時代の石垣の城、織田信長に対抗した城郭石垣の城、信長の城となった石垣城郭と、石垣から見た日本の名城の城郭を、石垣研究家とともに紹介。　A5判　176P　1,728円（税込）

Amazon.co.jp、楽天ブックスなどのネット書店でも必ず求められます。
イカロス出版聖教版　〒162-8616 東京都新宿区市谷本村町12-3　TEL.03-3267-2766　http://www.ikaros.jp/

新時代の政治理論誌
公明
9月号　308円（税込・送料別）
特集1　恒久平和への潮流を促進
日中平和友好条約締結40周年　東アジアの安定めざす幅広い交流が必要　山口那津男
対決回避、対話重視で重責果たした朝鮮半島　胡錦濤　金定吉
日中両国の絆を固く結ぶ経済・人的交流こそ　蘇海河
国際社会における法の支配と地域機構の意義　植田隆子
特集2　女性の活躍は明日のチカラ
〈対談〉テレワークで全ての人が活躍できる社会を！　田津由利／山本なえ
〈対談〉「家庭進出」を進めるために　横田美芽子／横田結子
〈対談〉男性の「家庭進出」を進めるために　藤田結子
政治現象の視点　被災者に寄り添い奔走する姿を　編集部
公明出版サービス　TEL.0120-959-947（平日9～17時）　FAX.0120-959-948（24時間受付）
http://komeiss.jp

頭に塩を乗せてシャワーで流すだけ「頭にはシャワー」
ゆほびか　最高の脳の休息法
10月号●雷相730円（税込）
夏の冷凍バージョン　体調好転！収入増・再就職も！
風のチャイムCD
最新医学と脳科学で「脳疲労」を解消
塩でもんで晩酌づくり　発酵タマネギ
2週間で4kg減　腸内環境改善　高血圧　皮膚炎が改善
◉脳が休まる！不安パニックめまいも軽快！手振り瞑想
ワキガ、加齢臭、足の悪臭が消える！手作りミョウバン水
◉目の後ろを押すと脳が活性化／病気、痛み・性格も改善
◉脳疲労に即効！中指ねじりで不眠・高血圧・腰痛が改善
マキノ出版　http://www.makino-gj.jp/yuhobika/
書店または楽天ブックス☎0120-29-9625（通話料無料）

壮快　10月号　定価620円（税込）
世界中が大注目テレビで大反響
マイ・ヘルスミル／マキノ出版
オクラ水でめまいひざ痛
逆流性食道炎、下肢静脈瘤（足の血管がボコボコ）、血糖値・血圧が続々正常化！
腸が絶賛する腸活スイーツ
甘酒寒天でやせる色白美肌
高血圧、糖尿病を撃退
便秘が解消！自髪が生える
真夏の快眠術　睡眠負債を一掃！朝までぐっすり
やせる「腎機能」魯肉原液が効く
スッキリと眠れて各種効果抜群
書店または楽天ブックス☎0120-29-9625

灯台　9月号　好評発売中！　2018年　定価450円（税込）
デジタル版も配信中
特集　ムリなく　たのしく　「家食」のススメ
佐藤剛史＊長澤池早子　とけいじ千絵＊徳田克己
地域特集　長野県
誌上座談会／教育懇談会　未来の主役たち／家族の挑戦　希望の歩み
インタビュー　書家・お笑い芸人　モンキッキー　山田恵里佳　夫妻
希望のエールを贈る　心でつながる
夏井いつきの「今日から一句」　〝雷〟を詠む③
テキトー母さん流　発達障害の子を育てるヒント　立石美津子
佐藤弘道の家族でからだあそび
第三文明社　http://www.daisanbunmei.co.jp
TEL.03（5269）7145（ご注文専用）TEL.03（5269）7144（営業代表）

別冊太陽
美しいヴィジュアルと貴重な資料とともに、一つのテーマを深く掘り下げてご紹介します。
別冊太陽　日本のこころ262　昆虫のすごい世界　監修＝丸山宗利
別冊太陽　日本のこころ263　ちひろメモリアル　生誕100年　編＝別冊太陽編集部
別冊太陽　日本のこころ264　幽霊画と冥界　監修＝女村健信
平凡社　〒101-0051　東京都千代田区神田神保町3-29　TEL.03-3230-6573／FAX.03-3230-6587　http://www.heibonsha.co.jp/